

オルガテック2014 ケルン国際オフィス家具見本市

会期：2014年10月21日(火)～25日(土)

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

ファイナルレポート

ORGATEC 2014: 会場は大盛況、国際性とクオリティがさらにアップ

海外からの出展者数、来場者数ともに増加／トップクラスの意思決定者と専門バイヤーが国内外から参加／大満足の出展者、ハイレベルの来場者

ORGATEC 2014 は素晴らしい成果をもって 10 月 25 日(土)に閉幕し、この見本市に対する業界の評価を一層高めました。オフィス家具業界をリードする国際見本市として、特に国際性とクオリティの高さ、また出展製品とサービスの多様性という点でさらにレベルアップを果たしたのです。今回は世界 120 カ国から 50,000 人以上が来場、前回 2012 年に比べ微増となりました。海外からの来場者が約 7%増加し、特に中東、北米、アフリカ北部と南部、そして中国からの来場者数が2ケタの伸びを記録しています。ヨーロッパ域内からの来場者も増え、トルコ、イタリア、スペインの伸びが顕著でした。一方、出展者は 41 カ国から 624 社が出展しましたが、その 66%が海外企業であったことから ORGATEC が国際的に重要なメッセであることが十分にうかがわれます。「イタリアからは 2,000 人近いバイヤーが詰めかけ、米国とカナダ、中近東からの来場者も目立って増加しました。このことは、ORGATEC が全世界のオフィスとコントラクトビジネスの牽引役であることを示しています」。こう述べるのはケルンメッセ副社長のカタリーナ・クリスティーネ・ハマ氏です。「ドイツからはトップクラスの意思決定者と専門バイヤーが多数来場し、展示内容は彼らの期待に十二分に答えるものでした」。

オフィス・椅子・ファシリティ家具連盟(BSO)のヘンドリック・フント会長は次のように話しています。「ORGATEC では斬新なコンセプトと製品を自在に組み合わせ、来場者が未来のオフィスを実際に体験することができました。だからこそ、ケルンで最新トレンドを発見しようと若い来場者が詰めかけたのです。見本市がこんなにも成功したことを本当にうれしく感じています」。ORGATEC の新しいホールレイアウトも、出展者と来場者の双方に好評でした。105,000 m²の出展スペースは完売され、来場者に場内をわかりやすくする目的で、今回はホール 10.1 に代わって 11.2 がオープンしました。

見本市は全面的に成功

ORGATEC Office、ORGATEC Contract、ORGATEC Spaceそして ORGATEC Mobileの4部門では、仕事・生活空間であるオフィスのあり方を、総合的なソリューションとコンセプトとして展示しました。ホール 6、7、8、9、10.2、11.2 では、業界をリードする国内外メーカー各社がインテリア、床材、音響、照明、メディア、ハイテク会議システムなどの最新製品とサービスを、世界中から訪れたバイヤーに提示しました。来場者の内訳はスタートアップ企業の創業者に始まり、ディーラー、中堅企業の意思決定者、そして大企業の購買・人事部トップまで幅広いものでした。

業界の有力企業がほぼ全社出展し、インテリア、照明、床材、音響、照明、メディア技術といった分野で高品質の製品が勢揃いしたことに、来場者の反応も上々でした。

どのブースも人があふれる盛況でした。Haworth 社で欧州副社長およびドイツ社長を務めるヘニング・フィグ氏は、出展成果について次のように語っています。「当社ブースでの来場者の反応には本当に満足しています。連日にわたり来場数が非常に多く、質の高いコンタクトを獲得できました」。

世界中からの来場者がケルンに来て当社ブースを訪問して下さったことで、当社が国際展開していることを実感できました。今回はパトリシア・ウルキオラが製品とブースの両方をデザインしましたが、それが来場者に大好評だったのも嬉しいことです。今年も ORGATEC への出展は当社にとって100%の成功だったと言えます」。

Sedus Stoll 社にとっては、ORGATEC が「業界の最も重要なミーティングポイントであり、取引の場所であることは間違いありません」。こう話すのは**同社マーケティング営業部長のホルガー・ヤーンケ氏**です。「ブースは盛況でした。業界関係者以外にエンドユーザーの来訪も多く、当社の最新プロジェクトと設計チームを見ていただくことができました。とりわけ海外からのバイヤーが熱心で、当社製品のライセンスに関して米国メーカーからの引き合いがさかんにありました。“コミュニケーション・ソリューション”を主眼に展示コンセプトを展開するという判断が正しかったのだと感じています。デスク周りの作業空間は標準的な形からあまり変わらず、雇用者がそちらに投資しなくなった一方で、ラウンジ、チームワーク、ミーティングといった分野のソリューションには大規模な投資をする傾向が強まっています」。

DURABLE 社マーケティング部長の**トーマス・ラーツ氏**も、ORGATEC に好意的なフィードバックを寄せています。「私たちは世界初の生物学的照明システム Lucitra を発表する場として ORGATEC を選び、それが大成功しました。出展に心から満足しています。当社ブースは毎日来場者であふれ、彼らのレベルも非常に高いものでした。既存顧客だけでなく今後の取引が望めそうな新規顧客とも内容のある商談をすることができ、貴重なコンタクトを得られました。展示を通して当社のターゲット層を大いに触発できたと思います。」

Fritz Hansen 社 CEO の**ヤコブ・ホルム氏**もまた、ORGATEC を高く評価します。「12年ぶりに ORGATEC に出展したことを心から喜んでいます。5日間の会期全体を通じて来場者と活発に商談することができ、当社のプレゼンテーション “Explore Relations“ には非常にポジティブな反応がありました。ORGATEC は業界有数の見本市ですので、次回もぜひ出展したいと思います」。

Interstuhl 社でも、初日の段階でブースの活況は明らかでした。「連日非常に混雑しました。進出国の代理店は全員ブースに詰めていましたが、それぞれの国から多数の来訪を受けていました。出展は全面的に大成功です」と、**同社社長のヴェルナー・リンク氏**は総括します。

KOMTECH 社総務部長の**アンドレアス・ペロフ氏**もまた、他社同様の結論です。「来場者のクオリティにも、その数にも、非常に満足しています。2016年の出展も確実です」。

来場者の高い満足度

一方、来場者も今回の見本市に十分満足していたことが、来場者調査で明らかになりました。「来場目的を果たせましたか」という質問に、回答者の84%が「(十分に)果たせた」と回答しています。また出展内容については86%が「(非常に)良い」と評価しました。「業界の知り合いにオルガテックへの来場を薦める」と答えた回答者は94%に上りました。

ORGATEC のトレンド

働き心地の良さ、コミュニケーション、テクノロジー、そして身体を動かすこと。ORGATEC 2014は、今日の職場環境の変化に主眼を置いた内容でした。特に、同僚と意思の疎通がしやすく、同時に各人が仕事に集中でき、しかも快適である仕事環境の設計に主眼を置いた展示が目立ちました。このため出展者は家具だけでなく、最新の音響・照明コンセプトも併せて発表しました。このほか職場環境へのテクノロジーの融合と、最新技術によって実現する社内情報・知識の共有、転送、共同処理というテーマにも焦点が当てられました。出展者に共通していたのは、快適な職場環境を整え、社員がもっと身体を動かすことで健康増進を促し、それにより意欲と生産性を長く維持する、という考え方です。

イベントにも大きな反響

5日間にわたるORGATECのイベントプログラムでは、トップクラスの専門家たちが業界のトレンドについて協議し、理想的な職場環境について討論しました。たとえば少子高齢化がオフィスにもたらす影響、チェンジマネジメントといったテーマに加え、今回初めてゲーミフィケーションが取り上げられ、大きな関心を集めました。次世代の職場環境に関するサーベイ ”New Work Order” の最新結果発表に多数の来場者が詰めかけ、全世界の模範オフィス紹介も人気を博しました。

「未来の職場」と題するテーマ・デーは今回初めてORGATECの一環として開催され、大きな反響を呼びました。これはドイツ労働組合連盟NRW州教育部、ドイツオフィスネットワーク、連邦職場安全健康研究班、NRW州技術アドバイセンター、そしてケルンメッセの共同プロジェクトです。経営協議委員会や職員協議会のメンバー、重度障がい者団体の代表ら100人が参加してオフィスワークをめぐる様々な講演や発表に耳を傾け、メーカーとの意見交換も行いました。「ORGATECはこのテーマを通じて新たなターゲットグループを開拓し、このメッセが理想的なプラットフォームであることを示しました」と話すのは、ドイツオフィスネットワーク会長のマンフレート・フィッシャー氏です。「今回のORGATECではこの分野をさらに充実させ、斬新で画期的な内容でターゲット層に働きかけるつもりです」。

今回初めての試みで同様に好評だったのが、ファシリティマネジャーを対象としたWorkplace Congress でした。約140人が出席して空間コンセプト、面の有効活用、照明、音響、社内の空調などについて情報収集し、エキスパートとの公開ディスカッションに参加しました。

[メッセデータ]

出展者数: 41ヵ国624社 (2012年:35ヵ国622社)
ドイツ国内212社 (2012年:256社)、海外412社 (2012年:366社)
海外からの出展比率66% (2012年:59%)
来場者数: 120ヵ国50,000人超 (最終日の推定人数含む。2012年:123ヵ国約50,000人)
海外からの来場者比率52% (2012年:48%)
総展示面積: 105,000㎡ (2012年:105,000㎡)

*以上の数字は見本市統計管理協会(FKM) の指針に基づき算出され、公認会計士の監査を受けています(www.fkm.de)。

次回の「オルガテック2016」は、2016年10月25日～29日に開催されます。

デジタルプレスサービス:

ファイナルレポート、その他プレスリリース、出展者情報、新製品情報一覧、写真とロゴのデータバンクは www.orgatec.com - Presse でご覧いただけます。

本レポートを転載される場合には掲載紙をお送り下さい。

オルガテックに関するお問い合わせ:

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5階

Tel:03-5793-7770 Fax:03-5793-7771

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp/orgatec